

# 事務事業評価シート

評価年度	平成30年度	対象事業年度	平成29年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	環境建設部 企画整備課	クリーンセンター 企画総務グループ 土井淳一	評価責任者 (担当課長)	クリーンセンター 企画整備課長 長友文昭
----------	----------------	---------------------------	-----------------	-------------------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	家庭廃食用油回収事業		② 整理番号	04010101-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	安心・安全のまちづくり		
	節	生活環境の整備・充実		
	項	都市環境の保全・美化の推進		
	号	環境保全対策の推進		
④ 関連する個別計画	なし		⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃食用油を回収することで、周辺河川や下水への流入を減らし環境負荷を低減する。</li> <li>・回収した廃食用油を精製し、ごみ収集車等の燃料として使用することで温室効果ガスを削減する。</li> </ul>
② 対象 (誰・何を対象として)	市内一般家庭
③ 手段 (どのようなやり方で)	拠点回収により廃食用油を集め、精製可能な業者に売却しバイオディーゼル燃料を精製し使用する。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川への流入が減少することで水質が改善された。</li> <li>・廃食用油で精製されたバイオディーゼル燃料を使用することで、化石燃料である軽油の使用量が減少し温室効果ガスの排出量を削減した。</li> </ul>

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 直接事業費	252	252	252	252	(予算) 252
② 概算人件費	(0.05) 381	(0.05) 381	(0.05) 381	(0.02) 176	
一般職員(職員数)	(0.05) 381	(0.05) 381	(0.05) 381	(0.02) 176	
嘱託職員(職員数)					
臨時職員(職員数)					
③ 合計(①+②)	633	633	633	428	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)	0	0	0	0	
⑤ 一般財源(③-④)	633	633	633	428	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	① 廃食用油拠点収集		12 回	12 回	12 回	12 回
	② 廃食用油拠点回収	(市役所)	随時	随時	随時	随時
成果指標	① 廃食用油回収量		6,220 L	6,729 L	6,530 L	7,395 L
	② BDF使用量		1,780 L	1,880 L	1,600 L	1,489 L
効率指標	① 回収コスト	廃食用油 (1L/円)	0 円	0 円	108 円	108 円
	② 軽油減によるCO2削減量	軽油のCO2排出量 2.619kgCO2/L	4,662 <sup>kg</sup> CO2	4,924 <sup>kg</sup> CO2	4,190 <sup>kg</sup> CO2	3,900 <sup>kg</sup> CO2

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	廃食用油を回収することで周辺河川を汚すことなく、きれいな街づくりが可能となる。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	一般廃棄物として処理を行う必要のある廃食用油を、エネルギーとして有効活用することは環境負荷低減に有効である。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	拠点回収とすることで、収集コストを余りかけず回収する。廃食用油の精製費用は軽油価格と同等程度であり費用面での負担も少ない。

#### 6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
A	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他

#### 7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)